

【演題名】（大阪大学医学部附属臨床研究倫理審査委員会：承認番号：22152）

肺がん薬物療法の個別化を目指した薬剤耐性バイオマーカーの探索

【対象】

- ・ 2016年1月～2022年7月に当院で肺がんに対して抗がん薬治療を受けられた方（18歳以上90歳未満の方）のうち、当院の呼吸器・免疫内科学の研究「免疫関連疾患・呼吸器疾患の病態解析のための検体バンクの構築」に参加され、血液検体を別の研究に使用することに同意された方
- ・ 下記の研究期間中に当院で肺がんに対して抗がん薬治療を受けられた方（18歳以上90歳未満の方）

【研究機関名】

大阪大学医学部附属病院

【目的】

肺がんの治療の一つに、抗がん薬を用いた薬物治療があります。薬物治療で、一旦がんが小さくなっても、治療を続けているうちに、薬の効果が弱まり、がんが進行することがあります。薬の効果が弱まることを「耐性化」といい、がん治療の大きな課題となっています。この研究では、患者さんの血液を調べ、抗がん薬の耐性化の目印となる物質（バイオマーカー）を探し出すことを目的としています。

【方法】

抗がん薬を使用する前と、効果がなくなったタイミング（別の抗がん薬に変更するタイミング）に採取された血液を使用します。年齢、身長、体重、喫煙歴、血液検査結果、遺伝子情報、カルテ番号等の情報も研究に使用します。

【意義】

薬剤耐性の指標となるバイオマーカーを同定し、肺がんの薬物療法の更なる個別化医療の実現を目指します。

【個人情報の扱い】

新しく符号又は番号をつけて匿名化を行う研究対象者とこの符号（番号）を結びつける対応表を当院で作成し、個人情報管理者は外部の漏れないように厳重に保管する。

【研究期間】

2022年7月12日～2025年12月31日

【照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先】

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。
ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としないので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

大阪大学医学部附属病院 薬剤部

研究責任者：奥田 真弘・教授

相談窓口 新谷 拓也

連絡先：06-6879-5111（代表） 内線：6018